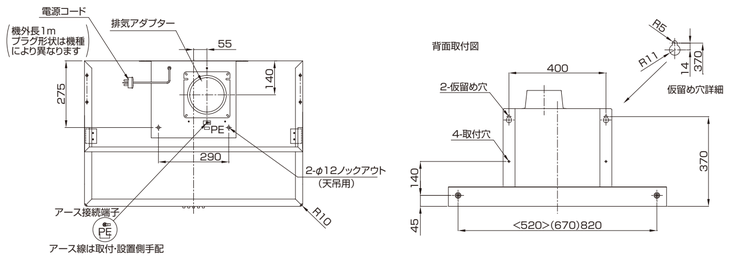
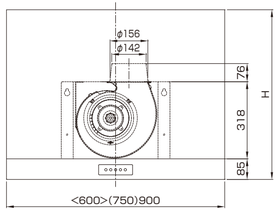
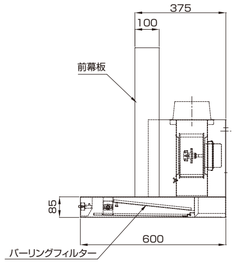
7 外観寸法図(取付寸法図)

背面取付図







8 電気配線

分解・修理・改造禁止

● 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと
発火・感電したり、異常作動してけがをすることがあります。

使用禁止

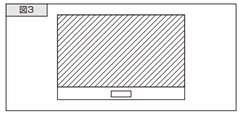
● 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります。

アースを取り付ける

● アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。

取付注意

● 配線の接続は、「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って安全・確実に行うこと
誤った配線接続は感電や火災のおそれがあります。



1 コンセントは幕板のサイズに合わせて図3の斜線の範囲内に設置してください。
2 必ずアース（D種接地）をしてください。
アース接地位置は「外観寸法図」を参照ください。
※アース線は取付・設置側にて手配してください。
3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

9 試運転

⚠注意

接触禁止

● 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと
けがをしたり、故障の原因となります。

1 本体の各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
2 運転時、各速調の排気が正しく行われていること。
3 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
4 取付け又は設置上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

10 お客様への説明

1 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
2 取扱説明書と共に、この取付・設置説明書を必ずお客様へお渡しください。

優良住宅部品（BL）について

●当社の定める据付要領を逸脱しない据付に瑕疵が生じ、据付者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付（又は刻印等）がされている住宅部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。
●BL保険制度については、一般財団法人ベターリビングのホームページ（http://www.cbl.or.jp/）をご覧ください。

WATANABE
Manufactory Company Limited
株式会社　渡辺製作所
〒104-0031　東京都中央区京橋1－6－11
カンケン京橋ビル5F
■東京支店　TEL(03)3538－6690　FAX(03)3538－6691

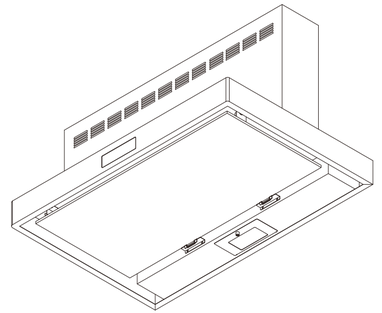
K4201540

取付・設置説明書

ワイドスリム
（シロッコファン）
優良住宅部品（BL）設定レンジフード

WATANABE
Manufactory Company Limited

●取り付けの前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	「禁止」事項
	指示に従う
	分解・修理・改造禁止
	接触禁止
	電源プラグを抜く
	水場での使用禁止

（WBS－※※※－BL）

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

●ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

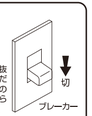
⚠注意　誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

⚠ 警 告

修理分解はしない

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理改造は行わないで下さい。
発火・感電したり、異常作動してけがをする恐れがあります。

お手入れは「切」にしてから



● お手入れや電球の交換の際は、必ず電源プラグを抜く、またはは分電盤のブレーカーを切って行ってください。(分電盤のブレーカーを切る場合は、他機器の電源も切れるおそれがあります。)ぬれた手で触らないでください。感電や、けがの恐れがあります。

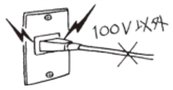
水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしない

● 水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないでください。
ショート・感電や火災の恐れがあります。

ガスもれのときはスイッチを入れない

● ガスもれの時は換気扇スイッチを入切しないでください。
ガス爆発の原因となります。

交流100V以外では使用しないこと



● 火災の原因になります。

レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。

※詳しくは、所轄の消防署へ確認ください。

⚠ 警 告

調理中や運転中に部品をはずさない

● 調理中や運転中に整流板、バーリングフィルター及び周辺の部品等をはずさないでください。
落下によりけがをする恐れがあります。

部品を扱うときは厚手の手袋使用

● 部品を取りはずすときや、洗うときは必ず厚手の手袋を着用してください。
金属端面などでけがをする恐れがあります。

運転中は指や物を入れない

● 運転中は危険ですから、レンジフード本体の中に指や物を入れないでください。
けがの恐れがあります。

レンジフードにのらない

● レンジフードにのったり、ぶら下がることはやめてください。
落下によりけがをする恐れがあります。

部品の取り付けは確実に

● 部品の取り付けは確実に行ってください。
落下によりけがをする恐れがあります。

電源プラグは確実に差し込む

● 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
火災の原因になります。

電源コードを傷めない

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。
電源コードが断線し、火災の原因になります。

電源プラグのお手入れを

● 定期的に電源プラグを抜き、電源プラグのほこり等を除去してください。
湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

お取付前の注意事項

(1) 部屋全体の換気には他の換気扇（ダクト用換気扇、または一般用換気扇）を併用してください。
（レンジフードは局所換気専用です）。
(2) 取付・設置の際は厚手の手袋を使用してください。
(3) 取付高さは標準80cmです。(但し、消防法により規制される場合がありますのご注意してください)。
製品は調理器具の真上に取付け、取付高さは調理器具より80cm(※)の高さに取付けます。高すぎると排気効果が低下し、低すぎると台所での仕事のさまたになったり、高熱による故障の原因になります。(図1)
(4) 湯沸器の上部は高温になるので、湯沸器の真上には取付けないでください。(図1)
(5) ダクト排気するときはダクト抵抗の確認が必要です。
(6) 空気の取入口を設けてください。
密閉された部屋で使用の場合は、空気取入口を設けます。空気取入口の位置はレンジフードと反対側に設け、大きさは排気口の大きさ（□156mm）以上にしてください。(図2)
(7) 取付面の強度をよく調べて取付けてください。
壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。
(8) 電源コードは傷付けないよう配線してください。
(9) フード周辺のレイアウトは、各市町村の条例に従ってください。

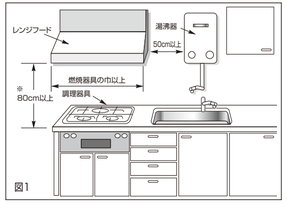
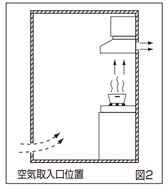


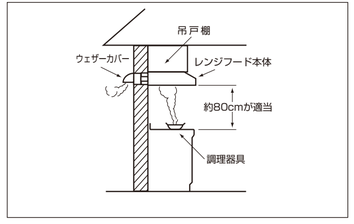
図1


空気取入口位置　図2

取付け方法

1 取付位置を決めてください

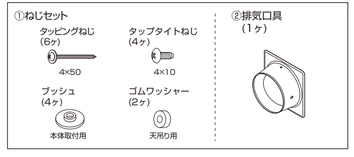
調理器具の真上80cm位の所に取付けてください



2 ダクトを配管してください

接続ダクトはφ150の鋼板管･スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。

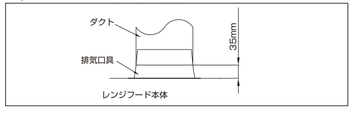
■付属品を確認してください



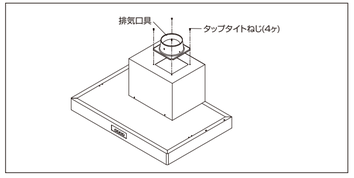
3 排気口具を取付ける

排気口具を取付ける際には、排気口具に貼付けてある「ご注意」をお読みの上取付けてください

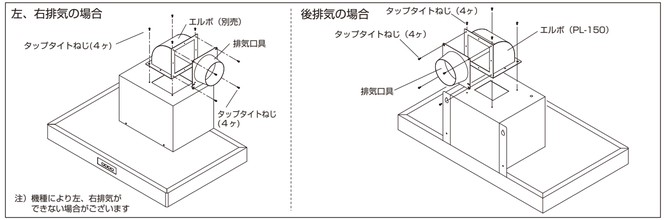
■φ150ダクトの差し込み寸法



3-1 上排気の場合



3-2 エルボ（別売）を使用する場合

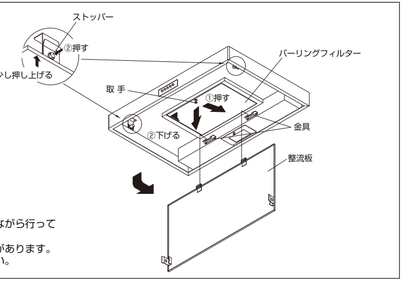


注）機種により左、右排気ができない場合がございます

4 本体を取付ける

整流板・バーリングフィルターをはずしてください

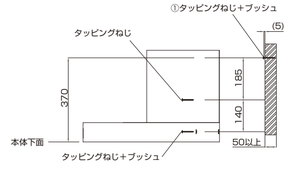
(1) 整流板をはずしてください。
整流板を少し押し上げながら、ストッパーを押すと外れます。
(2) バーリングフィルターをはずしてください。
バーリングフィルターの取手をつかんで奥に押しながら下げるとはずれます。



整流板をはずすときは、必ず整流板を両手で支えながら行ってください。
整流板が落下し、ケガをしたり、破損するおそれがあります。
また、金具を変形させないように注意してください。

4-1 壁への取付け

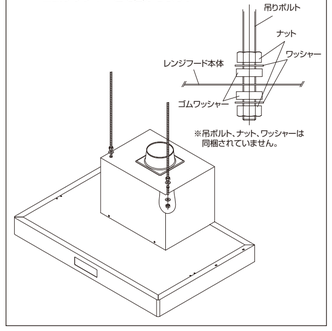
本体の下面の位置を決めて、壁に①タッピングねじをねじ込みます。
このねじに本体を引っ掛けてから増締めします。
その後にタッピングねじで他4ヶ所を固定します。



上図のねじ込み位置に補強又は十分な強度があることを確認してください。
製品が落下しケガをするおそれがあります。

4-2 天吊りを併用する場合

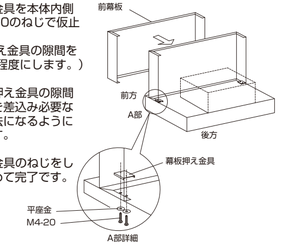
(1) 本体の天吊り用ノックアウト（2ヶ所）を打ち抜きます。
(2) 本体の上面の位置を決めて上下でナットとワッシャー、ゴムワッシャーとで固定します。



5 前幕板・横幕板（別売）の取付け方法

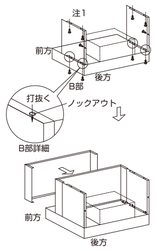
5-1 前幕板のみ使用の場合

1) 幕板押え金具を本体内側からM4-20のねじで仮止めします。
(本体と押え金具の隙間を3～5mm程度にします。)
2) 前方から押え金具の隙間に前幕板を差込み必要な奥行寸法になるように調整します。
3) 幕板押え金具のねじをしっかり締めて完了です。



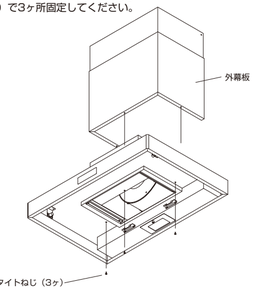
5-2 横幕板を使用する場合

1) 本体天面のノックアウト（φ6×10長丸）4ヶ所を本体外側から内側へ向けて打抜いてください。
2) 横幕板を本体内側からM4-10のねじ2本で固定します。
3) 横幕板を木ねじで後壁面に固定します。
※注1（上面にも固定すると筐体強度が増しますが、上面固定は各市町村の条例に従い行ってください。）
4) 5-1の手順に従い、前幕板を取付けてください。
(横幕板が前幕板の内側へ入り込み、重なり合います。)

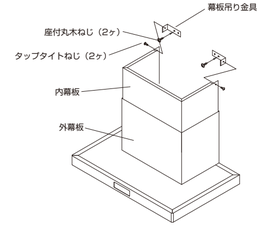


5-3 ダクトカバータイプの場合

(1) 外幕板を本体内側からタップタイトねじ（4×10）で3ヶ所固定してください。



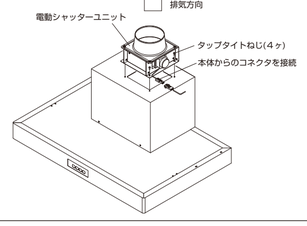
(1) レンジフード取付け壁面に幕板吊り金具を座付丸木ねじ（4.1×22）2ヶ所で固定してください。
(2) 内幕板で高さ調整をおこない、タップタイトねじ（4×10）2ヶ所で固定してください。



6 排気電動シャッターユニットの取付け方法

6-1 上方排気の場合

排気口に排気電動シャッターユニットをそのまま取付けてください。
本体からのコネクタを排気電動シャッターユニットのコネクタに接続して下さい。



6-2 エルボを使用する場合

排気電動シャッターユニットから排気口具を取り外し、間にエルボを取付けてください。